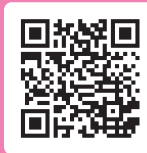


かならず
観るもや!



あるある
もやもや
アニメ



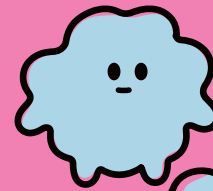
鳥取県男女協働未来創造センターよりん彩
鳥取県 男女協働未来創造本部県民運動課
〒682-0816 倉吉市駄経寺町212-5 ☎0858-22-6698
e-mail kenmin-undou@pref.tottori.lg.jp

それ思い込みかも?

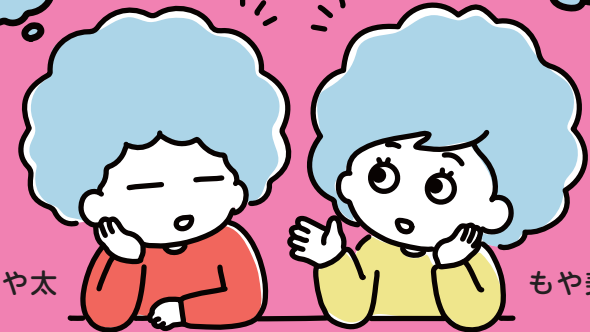
もやもや

性別による アンコンシャス・バイアス

事典



もやもやん



もや太

もや美

固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みに気づいて、
誰もが働きやすく暮らしやすい社会へ

アンコンシャス・バイアスってなに？



自分では気づいていない「ものの見方やとらえ方の偏り」のこと。
「無意識の思い込み」とも呼ばれます。「男らしい」「女らしい」と
いった性別に結びついた思い込みも含まれます。

例えば、こんな風に
思ったことはありませんか？

- ✓ 家庭 ▶ 家事育児は女性が主体で取り組む
- ✓ 地域 ▶ 町内会長は男性が当たり前
- ✓ 職場 ▶ 重要な仕事は男性、女性はサポート
- ✓ 学校 ▶ 女子は文系、男子は理工系

アンコンシャス・バイアスは、過去の経験や育った環境、接する情報などの影響で誰にでも自然に形成され得るもの。気づかないまましていると自分や周りの人の可能性を狭めてしまったり、誰かを傷つけてしまったりする場合があります。私たちの中にあるアンコンシャス・バイアスをすべて解消することは難しいですが、3つの点に気をつけることで固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みを減らすことができます。

アンコンシャス・バイアスへの対処法

思い込みで決めつけない



「男の子だから〇〇」「女性は〇〇すべき」といった決めつけや押し付けの言葉が出ていませんか？一人一人と対話し、相手を尊重することが大切です。

相手の「サイン」に注目



会話中、「急に表情が曇った」「声のトーンが変わった」といった相手の変化を感じたことはありませんか？自らの言動により、相手を傷付けてしまったのではないかと振り返ってみましょう。

常に意識を心がける



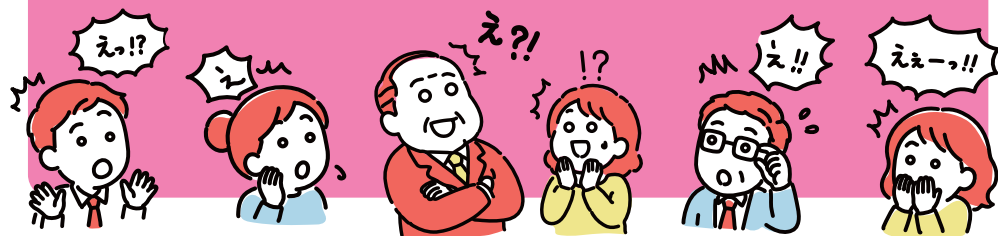
アンコンシャス・バイアスは無意識であるため、完全に払拭することは難しいこと。だからこそ、常に自身の言動を振り返り、見つめ直すことが大切です。

固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みに気づくことで、
誰もが家庭・地域・職場等のあらゆるところで、
心豊かに、生き生きと伸び伸びと暮らせる
男女共同参画社会へとつながっていきます。



もやもや アンコン 事例

具体的なアンコンシャス・バイアスの事例を通して
私たちが抱きがちな
「無意識の思い込み」を見てみましょう

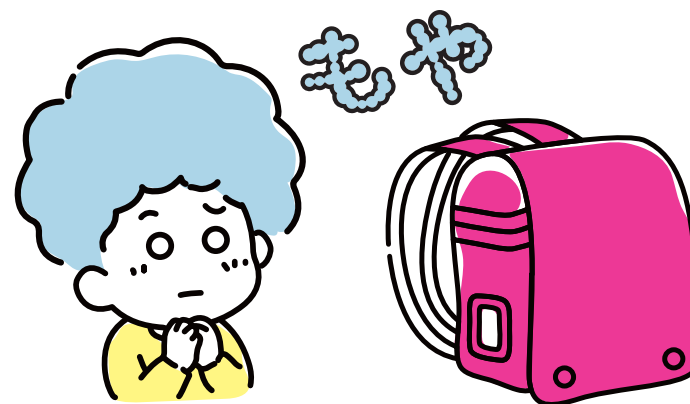


育児はママ中心?

子どもの発熱。「普通はママが休むよね」と、なんとなく思ってしまうこと、ありませんか? 悪気はなくても、「育児は女性が中心」という思い込みが、まだ社会の中に残っているのかも。

“当たり前”と思っている考え方を見直すことで、もっと働きやすい職場になるかもしれません。

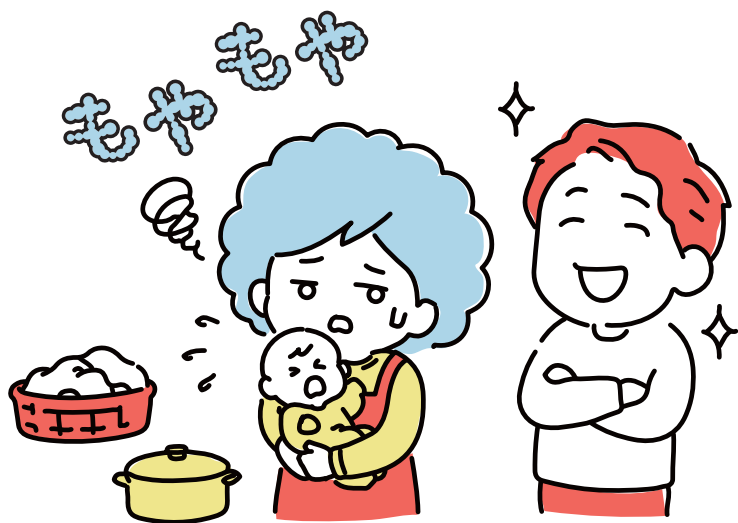
ピンクは
女子っぽい？



色に性別はある？

「ピンクは女の子の色」。なんとなく、そう思ってしまうがちです。でも、好きな色に“男の子らしさ”“女の子らしさ”はあるのでしょうか。「なんとなく」の思い込みが、子どもたちの「好き」や「やってみたい」を狭めてしまうかもしれません。

「手伝うよ？」
家事、育児は
女性の役割？



“手伝い”って何だろう？

その言葉に、少しもやっとしたこと、ありませんか？家事や育児は、誰かを“手伝う”ものではなく、家族みんなで支え合うもの。悪気はなくても、「家事・育児は女性が中心」という思い込みが、言葉の中に残っているのかもしれない。

女子は文系
男子は理工系？



得意なことに性別はある？

「女子は文系、男子は理工系が得意」。いつからかそんなイメージが定着。得意なことや興味のあることは、一人ひとり違うもの。「男だから」「女だから」という思い込みが、子どもたちの進路や可能性を狭めてしまうかもしれません。

「女らしく」？



「女らしさ」って誰が決める？

「女の子なんだから、もう少し女らしく」。我が子に思わず言ってしまうがちな言葉です。でも、外見や振る舞い、性格に決まった「女らしさ」があるわけではありません。その人らしさを、「男だから」「女だから」で決めつけないことが大切なのかもしれません。

「女性不在で」
お茶を出す？

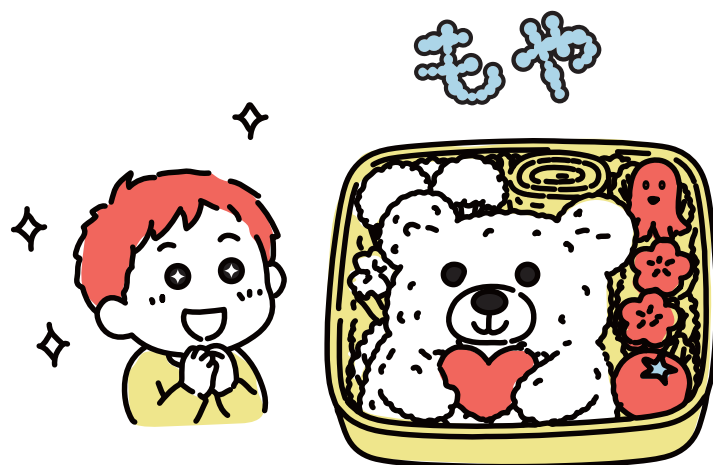


お茶出しは女性の仕事？

来客があったとき、女性がお茶を出すもの、という思い込みが「女性不在」という何気ない言葉に滲み出てしまう…。でもお茶出しや片付けなどの役割に、性別は関係ありません。

「昔からそうだったから」ではなく、その仕事を誰が担うのか、一度見直してみてもよいのかもしれない。

お弁当、
パパが作ると
すごいのか？



パパの家事は特別？

パパが作ったお弁当に「すごい!」。でも、ママが作ったときにも同じように言っていますか？男性の家事を特別にほめる背景には、「家事は女性がするもの」という思い込みがあるのかも。

誰がやっても、家事は家族を支える大切な仕事です。

PTA役員は母、
会長は父？



役割にも性別がある？

PTA活動はお母さんが中心。でも、会長になるのはお父さん。そんな光景、見慣れていませんか？「まとめ役は男性」「細かな仕事は女性」という思い込みが、役割分担に表れているのかも。

性別ではなく、一人ひとりの希望や得意なことで役割を考えてみませんか？

男のくせに？



「男らしさ」に縛られてない？

「男なんだから泣くな」「男のくせに弱いな」。そんな言葉を言ってしまったら、聞いたことはありませんか？感情や性格に、「男らしい」「女らしい」という決まりはありません。性別で決めつけず、その人自身の気持ちを受け止めることが大切なかもしれません。

誰が家事
できないって!?



男性は家事が苦手？ 女性は得意？

「男性は家事が苦手」。「女性なら料理や掃除ができて当たり前」。そんなふうに思っていないですか？ 家事の得意・不得意は性別ではなく経験や個人差によるもの。男性だからできない、女性だからできると決めつけず、それぞれに合った分担を考えてみませんか？

男性がやると
変ですか？



好きなことに性別はある？

料理や裁縫、ガーデニングなどを楽しむ男性を見て、「意外だな」と思うことはありませんか？ 趣味や好きなことに、男性向け・女性向けという決まりはありません。「男なのに」「女なのに」ではなく、その人の「好き」をそのまま受け止めたいですね。

パパイクメン
ママは名もなき
家事育児



同じ育児なのに、なぜ違う？

育児をするパパは「イクメン」とほめられるのに、ママがするのは当たり前。そんな違い、ありませんか？特別な呼び方をする事自体が、「育児は女性の役割」という思い込みの裏返しかも。

家事も育児も、性別に関係なく家族みんなで担うものです。

僕だって
苦手なものは
あるんだよ！



男の子は虫を怖がっちゃダメ？

虫やカエルを怖がる男の子に、「男の子なのに」と言ってしまうこと、ありませんか？怖いものや苦手なものは、人それぞれ。

「男の子はこうあるべき」という思い込みが、素直な気持ちを表しにくくしてしまうかもしれません。

单身赴任中!? 家庭は?



单身赴任=男性?

男性の单身赴任では言われないのに、女性が单身赴任中だと、「おうちは大丈夫?」と驚かれたり。「家庭を守るのは女性」という思い込みが、仕事の機会や選択に影響しているのかも。

仕事と家庭の両立は、性別に関係なく誰にとっても大切なテーマですね。

男女共同参画に関する施策や啓発について

鳥取県 男女協働未来創造センターよりん彩

鳥取県男女協働未来創造センター「よりん彩」は、男女共同参画社会の実現に向け、普及啓発や情報提供、相談、活動支援などを行う拠点施設です。愛称には、さまざまな個性を寄せ合い、男女共同参画の輪を広げてほしいという願いが込められています。



HP

鳥取県 男女協働未来創造本部県民運動課

鳥取県 男女協働未来創造本部県民運動課は、固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスの解消に向けた県民運動をはじめ、誰もが働きやすく暮らしやすい社会づくりに向けた取組を進めています。



HP

SNSで最新情報を
発信しています!



〒682-0816 倉吉市駄経寺町212-5 Tel 0858-22-6698

e-mail kenmin-undou@pref.tottori.lg.jp